



スイス再保険 シグマ大災害レポート2005: 大災害による損害総額は2,300億米ドルーうち約3分の1にあたる 830億米ドルは保険により保障

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Aurelia Zanetti, Zurich
Tel. +41 43 285 2544

Clarence Wong, Hong Kong
Tel. +852 2582 5644

Thomas Holzheu
Tel. +1 212 317 5190

Swiss Reinsurance Company
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121

チューリッヒ、2006年2月24日ー2005年中、9万7千人以上が自然災害あるいは人的災害により命を失った。2005年のスイス再保険シグマ統計には、約400もの大災害が数えられており、その損害総額は2,300億米ドルに上った。そのうちの約3分の1にあたる830億米ドルは保険により保障されていた。その前年には保険損害額は480億ドルであった。2005年は損害保険会社にとってこれまでになく損害の大きな年となった。

大災害による死者は9万7千人

2004年12月の大津波から立ち直りつつあるアジアは、再び大規模な災害に見舞われた: 2005年10月8日、カシミール地方の山岳地帯を瞬間マグニチュード7.6の地震が襲った。7万3,300人以上が命を落としたが、そのうち7万2千人がパキスタン側、1,300人がインド側で被害に遭った。2005年全体では9万7千人以上が大災害により亡くなった。

損害総額は2,300億米ドル

2005年は建物、インフラ、車両、事業への損失などの自然ならびに人的大災害により、2,300億米ドルの損害が生じた。ハリケーンカトリナによる損害額が他を引き離して最大となり、1,350億米ドルに上った。ハリケーンウィルマは200億米ドルの被害額で2番目、続いてハリケーンリタとデニスがそれぞれ150億米ドル、40億米ドルであった。カシミール地震による損害総額は50億米ドルであると推定されている。人的大災害による損害は1,000億米ドルに上るが、このうち最大のものは7月のロンドンでのテロ事件、1月にカナダで、3月に米国でそれぞれ発生した製油所での爆発、ならびに10、11月にフランスで起こった暴動によるものであった。

830億米ドルに上ったことにより保険損害は新しい局面を迎えた

損害保険会社への支払請求は830億米ドルに上った: このうち780億米ドルが自然大災害、50億米ドルが人的大災害によるものであった。4つのハリケーンが米国に上陸したことにより、米国ならびにカリブ海地域でのハリケーンが記録的損害のほとんどを占めた。ハリケーンカトリナだけでもその保険損害は450億米ドル、ハリケーンリタとウィルマがそれぞれ100億米ドル、ハリケーンデニスが10億米ドルと続いて

いる。2005年のハリケーンシーズンは幾つかの気象学上の記録も塗り変えた：名前がついた暴風雨27（これまでの最高記録は1933年の21）、このうちハリケーンの風速に達したものは15（これまでの最高記録は1969年の12）を数えた。3つのハリケーンが Saffir-Simpson スケールのカテゴリー5に達したのは史上初であった。

欧州では冬の嵐アーウィンならびに夏のアルプス地方での洪水による保険損害が19億米ドルとなった。人的大災害による支払請求は50億米ドルに上り、このうち最も損害が高額だったのは、カナダと米国で起こった製油所爆発、台湾とマレーシアでの電子機器工場での火災であった。

今後の予想：大西洋の海面水温場における長期変動（Atlantic multidecadal oscillation; AMO）で大きなハリケーンが増加

ハリケーンによる損失の増加は北大西洋での大西洋の海面水温場における長期変動（Atlantic multidecadal oscillation; AMO）に関連がある。海水温の上昇は1995年に始まり、今後10から30年続くと予測されている。これら暴風雨に向けた気候条件により、平均以上のハリケーン活動が続き、その激しさも増すとみられている。

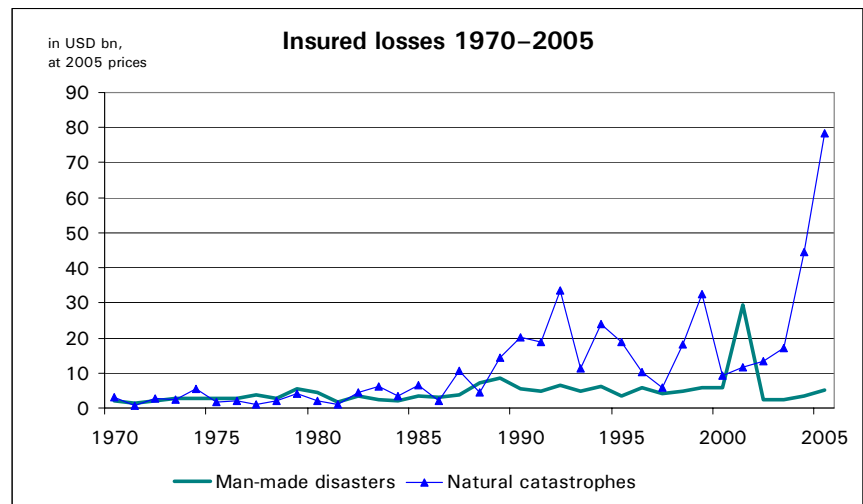
犠牲者数でみた2005年の大災害ワースト5

犠牲者数 (死者・行方不明者)	日付 (発生日)	事象	国
73 300	08.10.2005	地震（マグニチュード 7.6）、カシミール	パキスタン、インド、アフガニスタン
2 029	09.02.2005	寒波、雪、雪崩、ダム決壊	パキスタン
1 648	02.10.2005	ハリケーンスタン；雨、洪水、地滑り	メキシコ、グアテマラ、その他
1 326	24.08.2005	ハリケーンカトリーナ；洪水、ダム決壊、石油掘削装置への被害	米国、メキシコ湾、バハマ
1 313	28.03.2005	地震（マグニチュード8. 7）；余震	インドネシア

保険損害額でみた2005年の大災害ワースト5

保険損害 (百万米 ドル)	犠牲者数 (死者・行 方不明者)	日付 (発生日)	事象	国
45 000	1 326	24.08.2005	ハリケーンカトリーナ; 洪水、ダム決壊、石油掘削装置への被害	米国、メキシコ湾、パハマ
10 000	34	20.09.2005	ハリケーンリタ; 洪水、石油掘削装置への被害	米国、メキシコ湾、キューバ
10 000	35	16.10.2005	ハリケーンウィルマ; 雨、洪水	米国、メキシコ、ジャマイカ、ハイチ、キューバ
1 887	18	08.01.2005	冬の嵐アーウィン; 洪水	デンマーク、スウェーデン、英国、ノルウェイ、その他
1 864	49	19.08.2005	アルプス地方での雨、暴風、地滑り	スイス、ドイツ、オーストリア、その他

図表:



編集者への注釈

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界有数の再保険会社であり、生命・医療再保険では世界最大。当社は世界30カ国以上で70を超える拠点を展開している。1863年にスイスのチューリッヒで創業されて以来、スイス・リーは再保険事業に従事してきた。スイス再保険会社は、資本とリスクを管理するための多種多様な商品を提案している。広範囲にわたる損害保険ならびに生命・医療保険と関連サービスなどの伝統的な再保険商品に加え、包括的なリスク管理のために保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその補完的なサービスも提供。スイス・リーの現在の格付けは以下の通り。(1)スタンダード&プアーズから「AA(クレジット・ウォッチ・ネガティブ)」の長期カウンターパーティー格付け、保険財務力格付け及び長期発行体格付けと、「A-1+」の短期カウンターパーティー格付け、(2)ムーディーズから「Aa2(格下げ方向で見直し中)」の保険財務力格付け及び長期債務格付けと、「P-1」の短期格付け、(3)A.M. Best から「A+(格下げ方向で見直し中)」の財務力格付け。